



令和8年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年8月12日

上場会社名 フジプレアム株式会社

上場取引所 東

コード番号 4237 URL <https://www.fujipream.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部 部長 (氏名) 三村崇裕

TEL 079-266-6161

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第1四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第1四半期	2,008	22.1	59		59		6	
7年3月期第1四半期	2,578	31.6	31	88.9	40	86.5	9	95.4

(注) 包括利益 8年3月期第1四半期 3百万円 (%) 7年3月期第1四半期 15百万円 (93.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第1四半期	0.22	
7年3月期第1四半期	0.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第1四半期	15,653	9,841	62.9
7年3月期	15,963	10,016	62.7

(参考) 自己資本 8年3月期第1四半期 9,841百万円 7年3月期 10,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期		0.00		6.00	6.00
8年3月期(予想)		0.00		6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,022	13.2	348	58.1	354	42.4	226	14.0	7.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	8年3月期1Q	29,786,400 株	7年3月期	29,786,400 株
期末自己株式数	8年3月期1Q	1,211,561 株	7年3月期	1,211,561 株
期中平均株式数(四半期累計)	8年3月期1Q	28,574,839 株	7年3月期1Q	28,574,839 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げや訪日需要を背景に個人消費が持ち直す一方、人手不足やコスト高が回復の下押し要因となりました。また世界経済においては、米国の消費堅調を背景に回復基調を維持するものの、中国の景気減速や欧州の不透明感が懸念されました。

このような環境の中、当社グループでは引き続き、独自の精密貼合技術を核とした用途開発に取り組んでまいりました。車載・エレクトロニクス分野では、製品の標準化やグローバル化の進展により、市場構造が大きく変化しており、在庫や納期の調整が継続する中で、当社の受注動向にも影響が出ております。産業機器市場においては、中国をはじめとした主要市場での景気減速や設備投資の先送りが見られ、FA関連や工作機械分野での需要も依然として伸び悩んでおります。これらの外部環境の変化は、当社グループの業績にも一定の影響を及ぼしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高2,008百万円（前年同期比22.1%減）、営業損失59百万円（前年同期は31百万円の営業利益）、経常損失59百万円（前年同期は40百万円の経常利益）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は6百万円（前年同期は9百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

精密貼合及び高機能複合材部門

国内外のディスプレイ及びタッチパネル市場においては、各種分野での需要が引き続き堅調に推移しております。タブレットやPC向けにも高性能モジュールの需要が継続し、また、車載用途での電子化も進展しており、モジュール市場は安定した成長を見せております。一方で、製品の汎用化が進む中、新規参入や海外メーカーの台頭により、競争は一層厳しさを増しております。このような環境の中、当社は精密貼合技術の高度化に加え、先端設備及び新素材を活用した高付加価値製品の開発・受注に注力してまいりました。しかし、足元では国内自動車メーカーによる生産計画の見直しがあり、当社の受注もやや低調に推移いたしました。

この結果、売上高1,325百万円（前年同期比30.0%減）、営業損失33百万円（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

環境住空間及びエンジニアリング部門

国内太陽電池市場においては、従来型パネル分野で海外メーカーのシェアが拡大しており、国内企業にとっては依然として厳しい競争環境が続いております。当社グループでは、従来製品のコスト最適化を進めるとともに、建材一体型太陽電池の生産体制の強化を図っております。また、将来を見据えた次世代型太陽電池、特にペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けた研究開発も継続しております。エンジニアリング部門においては、設備投資環境について足元で一部回復の動きが見られるものの、全体としては慎重姿勢が続いております。加えて、鋼材価格の下落や米中間の貿易摩擦リスクも、装置製造を含む製造業全体にとって不安要素となっております。当社グループでは、アジア新興国を含めた海外販売体制の整備を進めておりますが、主要顧客である製造業各社の設備投資の先送りや受注時期の後ろ倒しが重なり、装置販売は低調な水準に留まっております。

この結果、売上高683百万円（前年同期比0.3%減）、営業損失28百万円（前年同期は27百万円の営業利益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加180百万円があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産の減少449百万円があったことによるものであります。固定資産は8,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の増加8百万円があったものの、建設仮勘定の減少64百万円、建物の減少61百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は15,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ310百万円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円の減少となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加95百万円があったものの、短期借入金の減少100百万円、製品保証引当金の減少43百万円があったことによるものであります。固定負債は1,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の増加1百万円があったものの、長期借入金の減少13百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は5,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少177百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.9%（前連結会計年度末は62.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和7年5月15日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,212,977	4,393,037
受取手形、売掛金及び契約資産	2,497,742	2,048,083
商品及び製品	7,957	10,373
仕掛品	393,442	334,969
原材料及び貯蔵品	266,698	348,096
その他	69,437	146,826
貸倒引当金	△290,302	△290,302
流動資産合計	7,157,953	6,991,082
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,371,405	3,309,555
土地	3,161,138	3,161,138
建設仮勘定	194,509	129,884
その他（純額）	858,248	834,661
有形固定資産合計	7,585,302	7,435,240
無形固定資産		
その他	55,667	55,488
無形固定資産合計	55,667	55,488
投資その他の資産		
投資有価証券	998,838	1,007,625
退職給付に係る資産	11,852	13,664
その他	156,818	152,600
貸倒引当金	△2,662	△2,662
投資その他の資産合計	1,164,846	1,171,228
固定資産合計	8,805,816	8,661,958
資産合計	15,963,770	15,653,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	666,619	700,621
短期借入金	2,650,000	2,550,000
1年内償還予定の社債	32,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	763,880	859,871
未払法人税等	37,436	958
賞与引当金	32,306	29,985
製品保証引当金	69,768	26,157
その他	293,668	247,996
流動負債合計	4,545,678	4,447,589
固定負債		
長期借入金	1,095,067	1,081,747
退職給付に係る負債	49,225	51,004
その他	256,871	230,737
固定負債合計	1,401,163	1,363,488
負債合計	5,946,841	5,811,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,519,077	2,519,077
利益剰余金	6,308,952	6,131,227
自己株式	△863,930	△863,930
株主資本合計	9,964,108	9,786,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,820	55,579
その他の包括利益累計額合計	52,820	55,579
純資産合計	10,016,928	9,841,962
負債純資産合計	15,963,770	15,653,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	2,578,504	2,008,529
売上原価	2,245,644	1,745,457
売上総利益	332,860	263,071
販売費及び一般管理費	301,289	322,686
営業利益又は営業損失(△)	31,571	△59,614
営業外収益		
受取利息	123	783
受取配当金	4,449	6,461
為替差益	5,427	—
固定資産賃貸料	1,788	3,505
その他	1,458	1,743
営業外収益合計	13,247	12,494
営業外費用		
支払利息	3,784	8,339
為替差損	—	3,099
その他	1,023	1,438
営業外費用合計	4,808	12,878
経常利益又は経常損失(△)	40,010	△59,998
特別利益		
固定資産売却益	—	31,498
特別利益合計	—	31,498
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	40,010	△28,500
法人税、住民税及び事業税	8,431	1,318
法人税等調整額	21,883	△23,542
法人税等合計	30,314	△22,223
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,695	△6,276
非支配株主に帰属する四半期純利益	426	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,269	△6,276

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,695	△6,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,515	2,759
その他の包括利益合計	5,515	2,759
四半期包括利益	15,211	△3,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,784	△3,517
非支配株主に係る四半期包括利益	426	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,893,293	685,211	2,578,504	—	2,578,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	730	30	760	△760	—
計	1,894,023	685,241	2,579,265	△760	2,578,504
セグメント利益	1,107	27,440	28,547	3,024	31,571

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,325,373	683,155	2,008,529	—	2,008,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	600	—	600	△600	—
計	1,325,973	683,155	2,009,129	△600	2,008,529
セグメント損失(△)	△33,778	△28,844	△62,623	3,008	△59,614

(注) 1. セグメント損失の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
減価償却費	125,207千円	122,892千円